

# Feng-Shui Gallery

special edition vol.81

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

## 『空間ごとに考える色彩の働き』

～オフィス編 (エントランス・会議室)～

【写真1】ワインレッド色の曲線壁は、エントランス空間にエネルギーを集め、気の流れをスムーズにする働きがあります。曲線壁の両サイドの壁に用いたストライプ柄は、向上心を高める働きがあり、気の流れを高めてくれます。【写真2】上下に間接照明が施された、鮮やかなオレンジ色の壁面が印象的なエントランスホール。「色彩」と共に、「光」も良い気を集める重要な要素です。観葉植物や花・額装した写真や絵など配置することも、空間のエネルギーを高めてくれます。【写真3】シンプルで小さなエントランスホールの場合、赤などビビッドな色彩をピンポイントで使用することで、空間のバランスを保ちながらデザインすることができます。石や木目などの自然素材も、良い気を集める働きがあります。【写真4～7】会議スペースに用いる色彩は、その働きによって使い分けする必要があります。交渉事などの重要な話をする空間の場合、床を濃い色にして空間の気を落ち着かせ、ブルー系統の壁紙をアクセントに用いることで脳を沈静化させるなど、目的に応じたデザインにすることが大切です。黄色やオレンジ系統の壁紙をベースに用いて、床材を明るくすると、アイデアや意見が出やすくなる空間になります。



<2>



<3>



<1>



<4>



<5>



<6>



<7>

オフィスのエントランスホールは、その企業の「顔」となる空間です。  
良い気が集まるようなデザインにするうえで  
「色彩」は特に大切な要素となります。  
色彩のもつ働きを最大限に生かした空間作りを心がけましょう。

エントランスに用いる色彩で「赤」「オレンジ」系統は、エネルギーを高めてくれる色彩として最適です。  
入り口入ってすぐ目に入る色彩は、無意識的に脳の潜在意識に落とし込まれ、  
脳のスイッチの切り替えを促してくれます。